

社会福祉法において各保育所では、保育の質の確保・向上に実効性のある自己評価に取り組み、利用者様へ情報の提供が義務づけられています。そこで岩屋保育園でも『平成30年度執行保育所保育指針のチェックを含む保育所保育のチェックリスト100』をもとに自己評価を実施し、情報開示をさせて頂きます。

令和5年度自己評価に関する情報開示

保育士は、『保育所の保育チェックリスト100』を使用し評価を行い、給食室職員は、『食育・食事の提供等に関するチェックリスト100』を使用し評価を行った。尚、1回目(4月～9月)・2回目(10月～3月)と年2回行い、レーダーにより1回目と2回目の評価の結果を表している。また、個人の集計結果と施設全体での集計結果を出し、施設全体での結果を下記に記載。後期では年間自己チェック評価表の記述も行い、こちらも下記に記載している。

○食育・食事の提供等に関するチェックリスト100

食育・食事の提供等に関するチェックリスト100	岩屋保育園	自己評価集計結果（施設）												
<評価方法> 理解し実施している…◎ 3点　一部実施している…○ 2点　不安がある…▲ 1点　実施していない…× 0														
集計結果（チェック2回分）														
<table border="1"><thead><tr><th>回答人数 入力してください</th><th>3人</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><th>評価</th><th>◎</th><th>○</th><th>▲</th><th>×</th><th>◎</th><th>○</th><th>▲</th><th>×</th></tr></tbody></table>			回答人数 入力してください	3人		評価	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
回答人数 入力してください	3人													
評価	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×						
I 園の基本姿勢等について(24項目)	19	34	16	3	20	35	14	3						
II 食育の推進(12項目)	6	15	13	2	10	15	11	0						
III 食事の提供(61項目)	80	64	26	13	79	64	34	6						
IV その他(3項目)	3	3	1	2	2	5	1	1						
レーダー														

○衛生管理チェックリスト

衛生管理チェックリスト50		岩屋保育園 自己評価集計結果（施設）							
<評価方法> ◎実施している…○3点　一部実施している…○2点　不安がある…▲1点　実施していない…×0									
集計結果（チェック2回分）									
回答人数 入力してください	1人								
	1回目				2回目				
評価	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	
1 記録・点検、設備確認(7項目)	6	1	0	0	6	1	0	0	
2 調理従事者等の衛生管理(10項目)	8	0	1	1	8	0	1	1	
3 原材料の受け入れ・下処理段階における管理(6項目)	2	4	0	0	1	5	0	0	
4 加熱調理食品の加熱温度管理(1項目)	1	0	0	0	1	0	0	0	
5 二次汚染の防止(14項目)	9	5	0	0	8	6	0	0	
6 原材料及び調理済み食品の温度管理(5項目)	3	2	0	0	4	1	0	0	
7 その他(7項目)	7	0	0	0	6	1	0	0	
レーダー									
<p>The radar chart displays the results of the self-evaluation across seven categories for three rounds. The categories are: 1. 記録・点検、設備確認 (7項目), 2. 調理従事者等の衛生管理 (10項目), 3. 原材料の受け入れ・下処理段階における管理 (6項目), 4. 加熱調理食品の加熱温度管理 (1項目), 5. 二次汚染の防止 (14項目), 6. 原材料及び調理済み食品の温度管理 (5項目), and 7. その他 (7項目). The chart shows a general improvement in most categories over the three rounds, particularly in categories 1, 2, and 5.</p>									

○年間自己チェック表からみえてくるもの

※個人

(今年度の評価点)

- ・昨年度より提供時間内に出せた。
- ・給食室を掃除する時間があり掃除できた。

(今年度の課題点)

- ・年少児のクッキング活動ができなかった。
- ・確認不足

・食材の入れ忘れがあったので、声かけをしていきたい。

(次年度の改善点)

- ・慣れからくるうっかりミスをなくす。
- ・思い込みもある為何度か確認する。
- ・クッキングの回数を増やす。

○保育所の保育のチェックリスト100

保育所の保育のチェックリスト100		岩屋保育園 自己評価集計結果（施設）							
<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点									
集計結果（チェック2回分）									
回答人数 入力してください	16人								
評価	1回目				2回目				
I 園の基本姿勢について(5項目)	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	
II 第1章 総則(37項目)	13	40	22	5	18	44	15	3	
第2章 保育の内容(33項目)	49	234	258	51	41	300	209	42	
第3章 健康及び安全(13項目)	32	227	213	56	25	293	173	37	
第4章 子育て支援(4項目)	23	88	85	12	27	125	48	8	
第5章 育児の姿質向上(6項目)	5	21	29	3	5	29	23	7	
III 園独自の取組について(2項目)	9	29	46	12	8	37	40	11	
	0	0	0	32	4	0	0	28	
レーダー									

○年間自己チェック表からみえてくるもの

以上児より

※個人

(今年度の評価点)

- 日々の活動など、子ども達の声に耳を傾けたり意見を取り入れた。
- 行事に関しては、主体的な取り組みはできず、保育者主導型から抜け出すことはできなかったが、子ども達はその中でやりたい意欲が増し楽しみながら自信をつけた。
- 日ごろの遊びは、子どもが作り出す主体的遊びを多く取り入れられた。
- 主担の保育計画を理解し、それに極力近づく様に援助することに努めた。
- 家庭との連携をとりながら育ちを共有し、成長の喜びを共感できた。

(今年度の課題点)

- 行事に関する主体的な活動を取り入れられず、保育者主導型となってしまった。
- 子ども達の観察、また保護者への連絡不足。
- 子どもへの言葉かけに気をつけ、子どもがわかりやすいように伝える。
- 気持ちのくみ取りやフォローを丁寧に行い、注意ばかりにならないようにする。

(次年度の改善点)

- 子どもの好きなことからの遊びを広げ、行事にも取り入れていきたい。
- 一人ひとりに寄り添うようにしていきたい。
- 家庭との十分なコミュニケーションをとり子どもの育ちの共有。
- 一人ひとりの子どもに合わせた保育を行なえるよう個々の把握を丁寧に行う。

未満児より

※個人

(今年度の評価点)

- ・一人ひとりの個性を大切に、関わり方や声かけの仕方に気をつけた。
- ・保護者に家庭の様子を尋ねたり園での様子を降園の際にしっかり伝え、こまめにクラスの先生と共有できた。
- ・子ども一人ひとりの発達に合わせながら、進める事が出来た。
- ・複数担任だったので、他の保育者のいい所を自分なりに取り入れていった。
- ・キャリアアップ研修で乳児保育について学び直し、保育計画や記録等、学んだことを活かしながら行うことができたと思う。
- ・一人ひとりの関わりを丁寧に行い生理的、情緒的要求にタイミングよく対応ができ基本的信頼関係を築けた。
- ・子どもが泣いていたり、何かと訴えてきた時には、できるだけ寄り添いながら言葉をかけるように心がけた。
- ・担任が共通理解できていることで、一人ひとりに応じた保育ができた。

(今年度の課題点)

- ・余裕がない時などの言葉使い、常に周囲に目を配る努力をしていきたい。
- ・子ども達が自ら関われる環境作り、子どもの主体的な遊びを可能にしていく取り組む必要があつた。
- ・落ち着いて、静かな保育がなかなかできなかつた。
- ・子ども達が、今何をしたいのかどんなことで楽しめるのかもっと観察が必要だつた。
- ・保育内容、行事等わからない状態で動くことが多く、積極性が足りなかつた。
- ・遊びの面での運動発達、指を使つた遊びなど環境設定を考えていく。
- ・園行事、製作等、先を見通した取りかかりをもう少し考えすべきだつた。
- ・物の入れ間違があり、その対応で保護者との信頼関係を損なうことになつたので、確認をすることを日々怠らないようにする。

(次年度の改善点)

- ・事前計画を立て、余裕のある保育。
- ・子ども主体の活動を取り入れていきたい。
- ・子どもの小さな変化に気づくことが出来るようにしていきたい。
- ・一人ひとりにあつた丁寧な保育を引き続きしていく。

※クラス運営（以上児・未満児）

(今年度の評価点)

- ・たくさんの子どもがみんなの前で意見を言う場面を多く取り入れた。
- ・子ども主体による活動を少しずつ取り入れた。
- ・進め方などを担任同士で話し合いながら共通理解しての保育ができた。
- ・感染予防に努めた。

(今年度の課題点)

- ・情緒が不安定な子に対しての関わり方を考える。
- ・配慮を必要とする子どもへのわかりやすい対応。
- ・子ども達の活動や成長、動きに合わせた保育室の環境作り。
- ・一対一での関わりが必要な子どもや理解が難しい子に対してのわかりやすい対応。

(次年度の改善点)

- ・時間に余裕を持ち活動時間を長めに考えておく。
- ・その子に合った関わり方をしていく。
- ・他クラスと連携をもつとる為の話し合いの場を作る。
- ・職員、子ども、保護者との言葉のコミュニケーションを大切にする。

○園全体の自己評価

(今年度の評価点)

- ・個人・クラスでの評価点としてあげられている、子どもの声を聞き、一人ひとりに合わせ日々、保育を行っていることを園全体としても評価点とする。しかし、保育士側から見ての子どもの問題点のみに目をむけてしまってはいないか、思い込みになってはいないかを課題とし、職員全体で、一人ひとりの子どもの良さや可能性を、色々な角度から捉え、保育を考えていくことを改善点とする。
- また、日常の保育の中で遊びが展開していく様子の写真などを今以上に配信し共有し、保護者と共に保育をつくることに繋がるようにしていきたい。

○まとめ

- ・今年度の自己評価をもとに、次年度も園全体で子ども達について考え、よりよい保育を行っていきたい。